

# 教育支援団体の活動紹介

高校生にぜひ知ってほしい、大学生や社会人の活動団体を紹介します。

## 「学生ならではの難民支援を！」～J-FUNユース

J-FUNユースの前身である「UNHCRユース」は、平成18年6月20日、世界難民の日に発足しました。難民問題や人道支援について関心のある学生が集まり、学生らしさを難民支援の現場に生かしたいという思いから、学習会やイベントを開催してきました。平成20年には、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)との共催で、国連大学前でのパレードや協賛店舗でのスタンプラリー、難民の方とのクッキング、キャンドルナイトなどのイベント「表参道ジャック2008」を行いました。そして昨年、新たに発足した「J-FUNユース」の目的は、次の2つ。

- 1 難民を取り巻く社会の状況を良くする
- 2 将来社会で活躍する人の学びの場となる

現在は、メンバーが訪問した難民キャンプ等で体験したこと、感じたことを伝えあったり、様々な視点からの難民問題について学びあったりする「RASC」(Refugee Aid Study Club)の開催や、中学校や高校での出張授業のプロジェクトなどを行っています。

「知る」「行動する」「伝える」の3つの柱を掲げ、知識を高めつつ、学生ならではの瞬発力を生かして行動に移し、多くのサポーターと連携しながら新たな難民支援を実施して社会へと発信しています。

事務局の柳真利奈さんは、「FUNは楽しさ、面白さの事です。遠い存在と感じ、また深刻になりがちな難民支援に「FUN」の要素を加え、難民支援の入り口を楽しく、身近なものにすることで、より多くの人に難民問題に関心を持ってもらいたいと考えています。」と話してくれました。

J-FUNユース  
<http://www.unhcr-youth.com/index.html>



ユニクロ社員の方を招いて勉強会



文化祭でのイベント 無事終了！

## 「大人が変われば、子供も社会も未来も変わる！」～NPO法人コモンビート

100人の大人が、100日間で作り上げるミュージカル「A COMMON BEAT」。このミュージカルを行っている団体が「NPO法人コモンビート」です。

社会人を中心とした100人は、ほとんど舞台経験がない人ばかり。公募で集まった素人のスタッフとキャスト(出演者)が、歌やダンス、演技を学びながら、約3カ月間で観客が感動する舞台を作り上げます。100日間、本気でチャレンジするからこそ表現できるステージです。

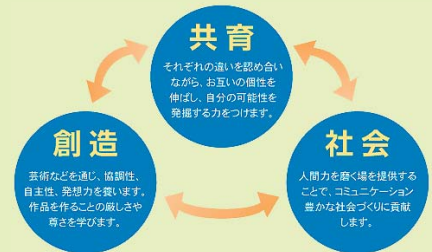
育ってきた環境や考え方、性別、年齢が異なるメンバーと協力する中でコミュニケーションの大切さに気付き、舞台を作り上げるという目標達成力、自主性、リーダーシップを磨いていきます。感受性と情熱を持った魅力的な大人、「カッコいい」大人が増えることで、子供たちが大人になることへの期待感をもち、社会が変わるのではないかと、代表理事の一人、中島康滋さんは期待しています。

NPO法人コモンビートは、他にも話し方講座や全国のイベントでのパフォーマンス、小学校や大学での出張授業や会員の個性あふれるイベントの開催等のプロジェクトを行っています。

NPO法人コモンビート  
<http://www.commonbeat.org/>



いよいよ合宿開始



100日後の今、舞台へ・・・